

## 記入要領

下記要領に従い所定の書類の記入をお願い致します。なお、不明な点は、学長室企画調整課までお問い合わせください。よろしくお願いします。

### ◆履歴書◆

#### ①「氏名」「使用希望氏名」「フリガナ」「性別」

- ・「氏名」「フリガナ」には戸籍に記載されている氏名を記入し、「性別」は○で囲んでください。
- ・「使用希望氏名」「フリガナ」には戸籍に記載されている氏名以外を使用される場合のみ記入してください。

#### ②「生年月日」「年齢」

- ・生年月日は和暦で記入し、記入時現在の満年齢を記入してください。

#### ③「現住所」「電話」「携帯番号」「E-mail」

- ・現在居住している住所および連絡先を記入してください。

#### ④「写真添付欄」

- ・3 か月以内に撮影された正面上半身で脱帽・無背景のものを添付してください。サイズは縦 4cm×横 3cm。

#### ⑤「学歴」

- ・年月には、和暦を記入してください。
- ・大学もしくは高等専門学校またはこれらと同等以上の学歴を有する方は、該当する全てについて記入してください。
- ・博士課程(博士課程後期)を出て博士の学位を取得していない方は、「博士課程単位取得満期退学」と記入してください。
- ・「修士」および「博士」の学位の名称は、この学歴欄に記入してください。

#### 記入例)

平成 14 年 3 月	大正大学大学院 仏教学研究科 仏教学専攻(博士前期)課程修了
平成 14 年 3 月	修士( 仏教学 ) ( 大正大学 )
平成 14 年 4 月	大正大学大学院 仏教学研究科 仏教学専攻(博士後期)課程入学
平成 17 年 3 月	大正大学大学院 仏教学研究科 仏教学専攻(博士後期)課程単位取得満期退学
平成 21 年 3 月	博士( 仏教学 ) ( 大正大学 )

- ・外国の大学または大学院へ留学された場合は、留学先の大学名、学部学科名(研究科、専攻名)および留学期間を記入してください。学位を取得した場合は、日本国内の大学(大学院)を卒業(修了)した場合の記入方法に準じます。

#### 記入例)

平成 12 年 9 月      ハワイ州立大学宗教学部(平成 13 年 6 月まで)

- ・学位のほか、医師、歯科医師、看護婦、社会福祉士、精神保健福祉士、臨床心理士、教育職員免許状の資格を有している方は、「学歴」の(その他)の欄に記入してください。その際、登録番号も必ず付記してください。

#### 記入例)

平成 14 年 4 月      臨床心理士(登録番号第9999号)

## ⑥「職歴」

- ・職歴の全てについて記入し、職名、地位等についても明記してください。
- ・各職歴は、在職期間が明確になるように記入してください。なお、現職については必ず(現在に至る)と明記してください。

### 記入例)

平成 10 年 4 月      株式会社ティー・マップ代表取締役(平成 11 年 3 月まで)  
平成 11 年 4 月      大正大学人間学部専任講師(平成 12 年 3 月まで)  
平成 12 年 4 月      大正大学人間学部准教授(現在に至る)

- ・研究生として外国に留学した場合は、この「職歴」欄に記入してください。

## ⑦「学会及び社会における活動等」

- ・学会に所属している場合は、期間および所属学会名を記入してください。
- ・社会活動のうち委嘱委員等は、委嘱期間が1年以上のものを記入してください。多数ある場合は、研究領域に関連のある主なものを記入してください。

## ⑧「賞罰」

- ・賞罰について具体的に記入してください。
- ・該当しない場合は「特になし。」と記入してください。

## ⑨「職務の状況」

- ・専任、兼担、兼任の順に、勤務先、職名、所属学部学科及び担当科目名を記入してください。
- ・「免許」欄には、「学歴」の(その他)で記入した資格以外を記入してください。年号には和暦を記入してください。

## ⑩最後に、記載情報に相違がないことを確認のうえ、記入年月日、氏名を記入し、ご捺印ください。

※以降は事務局記入欄です。記入しないでください。

# ◆教育研究業績書◆

## ①はじめに、記入年月日、氏名を記入し、ご捺印ください。

以下、年月日は和暦で記入してください。

## ②「教育上の能力に関する事項」

文部科学省申請に係る必須項目となっておりますので、必ずご記入をお願いいたします。

### ○「教育方法の実践例」

- ・優れた教育方法の実践例、マルチメディア機器を活用した授業方法、学生の授業外の学習促進のための取り組み、講義内容のweb上での公開等について記入してください。

### ○「作成した教科書、教材」

- ・作成した教科書や教材、講義で教科書として使用している著書や教材等の概要について記入してください。
- ・なお、後の「著書、学術論文」との重複も可とします。その場合、必ず(再掲)と付記してください。

### ○「当該教員の教育上の能力に関する大学の評価」

- ・大学の自己点検・評価の一環として、教育面で高い評価を受けた事実(その事由と評価内容)について記入してください。

## ○その他

- ・大学教育改善に関する団体等での活動の概要
- ・教育実績に対する受賞歴等
- ・その他上記にとらわれず、幅広く記入してください。

## ③「職務上の実績に関する事項」

### ◇企業、公官庁等の研究者の場合

- ・開発した製品・製法、作物の新種等の概要
- ・取得した特許等の概要
- ・大学との共同研究による研究実績がある場合、その概要、成果、当該研究者の役割

### ◇その他、企業・団体関係者

- ・国際援助・開発、先端技術、国際金融等高度に専門な実務に従事した実績

### ◇情報技術関係者の場合

- ・コンピュータに係る職務歴(職務上のコンピュータ活用法、ソフト・システム開発歴)

### ◇マスコミ関係者の場合

- ・執筆した記事の概要
- ・作成した番組の概要

### ◇医師や看護婦等医療技術者の場合

- ・症例研究会での発表等の活動

### ◇福祉その他社会的活動の関係者の場合

- ・参加した活動や団体の名称、活動内容・期間、本人の当該活動における地位

### ◇スポーツ等実技関係者の場合

- ・指導者としての経歴・実績・資格

### ◇芸術関係者の場合

- ・作品の概要

### ◇博物館、美術館等関係者の場合

- ・担当した展覧会の概要
- ・執筆・監修した展覧会図録の概要

### ◇その他全般を通じて

- ・大学から受け入れた実習生に対する指導歴(看護・福祉実習・企業実習)等
- ・企業内教育、大学公開講座、社会教育講座の講師としての講義等の概要

## ④「著書、学術論文等の名称」

- ・著書、学術論文等欄は次の区分により記入し、著書、学術論文、その他の順に、なおかつ年月日順(過去→現在)に、それぞれ番号を付して記入してください。なお、一つの区分に記入した内容を、他の区分に再掲することはできません。
- ・調査日現在、出版予定または発表予定のものも含みますが、調査日以降に投稿予定のものは含みません。
- ・記入する著書、学術論文等が無い場合でも、その旨を明記したうえで全ての用紙を提出してください。

### 【区分】

著 書・・・広く一般に流通している書籍であり、学会誌等の雑誌は含まれません。

学術論文・・・研究紀要、学会誌等へ掲載された学術論文のみを記入してください。

そ の 他・・・著書、学術論文に含まれないもの（書評、学会発表、競争的研究資金 等を含む）を記入してください。

※「その他」をさらに区分する場合は、必要に応じて分類してください。その場合、各区分の最初に（ ）で区分名を記入してください。

#### ⑤「単著、共著の別」「個人、共同の別」

- ・当該著書、学術論文等の単著、共著の別を記入してください。
- ・学会発表、競争的研究資金等の個人、共同の別を記入してください。

#### ⑥「発行又は発表の年月」

- ・当該出版物または発表の年月を和暦で記入してください。
- ・出版予定のものは、予定年月を記入し（出版予定）と付記してください。
- ・競争的研究資金は、研究期間を記入してください。

#### ⑦「発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称」

- ・著書の場合は発行所、学術論文の場合は当該論文が収録された媒体名、発行所および巻数、学会発表の場合はその学会名、競争的研究資金の場合は出資団体を記入してください。

#### ⑧「査読の有無」

- ・学術論文のみ、査読の有無を記入してください。

#### ⑨「概要」

- ・当該著書、論文の概要を200字程度で記入し、**出版物の判形、ページ数**を記入してください。
- ・著書、学術論文等が **共著の場合、担当部分および担当ページ数を明記するとともに、本人の氏名を含め著者全員の氏名を当該著書、学術論文に記載された順に記入し、本人の部分にアンダーラインを引いてください。** **なお、共同研究等で本人担当部分の抽出が不可能な場合は、担当部分および担当ページ数の部分にその理由を 記入してください。** **記入例）共同研究のため本人担当部分抽出不可**  
また、筆頭論文の場合は、その旨を明記してください。
- ・学会発表や競争的研究資金の場合は、要旨を記入してください。

#### 記入例)

著書、学術論文等の名称	単 著 、 共 著 の 別	発行又は発表の年 月	発行所、発表雑誌又 は発表学会等の名称	概 要
(著書) 1 ○○○○○	単著	平成 25 年 3 月	○○出版	概要(200 字程度) A6 総○○ページ
2 ○○○○○	共著	平成 26 年 1 月	○○出版	概要(200 字程度) A6 総○○ページ 担当部分 担当ページ p. ○○－p. ○○ 共著者:○○○○, ○○○○

著書、学術論文等の名称	単 著 、 共 著 の 別	発行又は発表の年 月	発行所、発表雑誌又 は発表学会等の名称	査読の 有無	概 要
(学術論文) 1 ○○○○○	単著	平成 20 年 12 月	○○学会誌 ○巻(○号)	有	概要(200 字程度) A6 総○○ページ

著書、学術論文等の名称	個人、 共同の 別	発行又は発表の年 月	発行所、発表雑誌又 は発表学会等の名称	概 要
(その他) (学会発表) 1 ○○○○○	個人	平成 25 年 8 月 1 日	○○学会	概要(200 字程度)
(科研費) 1 ○○○○○	共同	平成 20 年度～ 23 年度	文部科学省	概要(200 字程度)

## ◆志望理由書◆

- ①「教員採用の基本方針」の TSR シップ(教育ビジョン)をご理解の上、記入してください。
- ②10.5 ポイントのフォントで各項目 400 字以上とし、全体で3ページ以内に収まるよう記入してください。
- ③大正大学にどのような貢献できるかについて、これまでの実績を踏まえ、次の4つの視点から具体的に記入してください。

### 1. 教育・研究

#### 【例】

- ・研究に裏打ちされた質の高い教育活動
- ・学生の主体的な学修を促す授業方法
- ・授業外の教育活動、学務への協働
- ・FD 活動
- など

### 2. 学生支援

#### 【例】

- ・学生生活支援
- ・就職・進学支援
- など

### 3. 地域・社会連携

#### 【例】

- ・生涯教育支援
- ・地域のコミュニティ再生などの支援
- ・被災地支援
- など

### 4. TSR 理念

#### 【例】

- ・教員としての倫理観
- ・学生募集